



新年の読者新聞全面広告をみかんごもに
写真提供・佐伯泰英事務所

佐伯通信

2024年3月(令和6)
第67号
発行
佐伯泰英事務所
担当/光文社
禁・無断転載

災害と文庫本

令和六年一月一日の午後四時十分、能登半島を震度七の地震が、さらには津波が襲い、大被害をもたらした。報道で知った途端、昔の記憶が蘇った。東日本大震災ではない。昭和三十一年(一九五六)一月一日を迎えたばかりの新潟県弥彦村の神社で初もうで客が餅

まきに殺到して、玉垣が崩れて将棋のおしになり百二十四人が死亡した大惨事のことだ。齢をとると昨日のことは忘れるけれど、なぜか遠い昔のことは覚えていて、それも自然災害ではなく人災事故だ。正月元日の大惨事という事で思い出したのだ。私が十四歳の折りの出来事だ。
新年早々に能登を襲った自然災害は、この原稿を書いている二十日過ぎの段階で二百三十人以上の死亡者が確認され、行方不明者も二十数人おられ、破壊された家屋は三万軒を超えた

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

10月
8日

9月
4日

8月
6日

7月
9日

《文春文庫》
短期集中新シリーズ!

助太刀稼業 すげだちかきよう

7月 助太刀稼業 ① 『さらば故里よ』(仮)

8月 助太刀稼業 ② 『タイトル未定』

9月 助太刀稼業 ③ 『タイトル未定』

7月刊に「佐伯通信」第68号が入ります。
(初版の初回出荷分のみ挿み込み)

《光文社文庫》

吉原裏同心 41

『タイトル未定』

「佐伯通信」第69号が入ります。(初版の初回出荷分のみ挿み込み)

※発売日は予定です。

▼ 文春



PCやスマホでも /

佐伯作品が電子書籍で読めます!

▼ 光文社



出版社からのお知らせ 光文社文庫・文春文庫

佐伯泰英「時代小説300冊」達成 記念企画

佐伯泰英
時代小説
300冊

★佐伯先生からのプレゼントの特製しおり、元になった写真を公開中!

300冊目『恋か隠居か 新・酔いどれ小藤次26』、301冊目『陰流苗木芋洗河岸1』に封入いたしました、佐伯先生が読者の皆様への感謝の想いをこめて作成した特製しおり。その元になった写真を、文藝春秋、光文社各特設サイトで紹介中です。



★《佐伯泰英作品で「江戸めぐり」スタンプラリー実施中!

話題のアプリ「大江戸今昔めぐり」内で、佐伯作品にちなんだスポットをめぐって楽しんでいただけます。ラリーの完走者には特製の「完走証明書」をプレゼント。4月15日まで光文社篇を実施中。ぜひご参加ください。



短期集中新シリーズ、絶賛発売中!

その侍、剣の達人——
この読み応えが、佐伯泰英。

『芋洗河岸』

1「陰流苗木」 2「用心棒稼業」 3「未だ謎」



近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<https://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2024年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が(株)文藝春秋、(株)光文社の協力のもと発行します。

そんな。海底が四メートルも隆起する自然の破壊力に恐怖しかない。このため海岸線近くに通っていた道路が寸断されて、未だ救援活動がなかなか進まない。能登半島の長閑で美しい棚田や歴史を感じる町並みが破壊された光景にただただショックを受けた。
私ができることはなにかないか。
そう、避難所に現実を忘れて気楽に読んでもらう文庫本を贈ろうかと考えた。ところが過酷な避難生活を生き抜くために必要とされる物がたくさんあって、本

の順位はどうやら下位らしい。かような際は飲料水、非常食、防寒着、マスク、歯ブラシ、常用している薬、医療保険証に薬手帳などなどが必需品であり、文庫本は入る余地なしだ。確かにふだん付き合っていない人々と共同生活せざるをえない避難所で悠然と本を読んでいる人をテレビ報道で見たことはない。書物が必要とされるのは、いつ、どこで、と無意味なことを震災の報道番組を見ながら漫然と考えている。

鎌倉河岸 捕物控

シリーズ 電子書籍 毎月配信中

夏の短期集中新シリーズ 『助太刀稼業』 全3巻

刊行決定!
(7月、8月、9月の3か月連続)
こんどの主人公は!?

出版社からのお知らせ 文春文庫